



2 飢餓を
ゼロに



現在、飢餓に苦しむ7億9,500万人と、2050年までにさらに飢餓に陥ると見られる20億人の食料を確保

するためには、グローバルな食料・農業システムの根本的な変革が必要です。

飢餓をゼロにすることはなぜ大切か

目標の内容は何ですか。

飢餓に終止符を打ち、食料の安定確保と栄養状態の改善を達成し、持続可能な農業を促進することです。

なぜ、この目標が設定されたのですか。

極度の貧困と栄養不良は依然として、持続可能な開発を阻む障壁となり、人々が簡単に抜け出せない落とし穴を作り出しています。飢餓と栄養不良を抱える

人々は、病気にかかりやすくなり、稼ぎを増やして生活を改善することが難しいため、生産性も低下します。世界で8億人近くが飢餓に陥っていますが、その大多数は開発途上国で暮らしています。

2015年の飢餓人口の地域別内訳(推計)

欧米
1,470万人

アフリカ
2億3,250万人

アジア

5億 1,170万人

ラテンアメリカ・カリブ

3,430万人

オセアニア

140万人

地球上のすべての人に十分な食料はあるのに、飢餓に陥る人がこれほど多いのはなぜですか。

ずさんな収穫活動や食料の廃棄が食料不足につながっています。戦争も食料の入手を困難にし、食料の栽培に不可欠な環境を破壊しています。

なぜ心配すべきなのでしょう。

私たちは誰でも、家族のために安全で栄養のある食料を十分に確保したいと思っています。世界の飢餓をゼロにすれば、私たちの経済や健康、教育、平等、そして社会開発に好影響を与えることができます。それは、あらゆる人により良い未来を構築するための重要な要素です。また、飢餓で人間開発に支障が出れば、教育や健康、ジェンダー平等といったその他の持続可能な開発目標(SDGs)も達成できなくなります。

飢餓をゼロにするためには、どれだけのコストがかかりますか。

2030年までに世界の飢餓に終止符を打つためには、さらに年間2,670億ドルが必要になると見られています。貧しい人々が食料を手にし、その生活を改善できるよ

う、農村部と都市部、さらには社会保障にも投資する必要があります。

私たちには何ができるのですか。

家庭や職場、コミュニティで、地元の農家や市場を支援したり、持続可能な食料を選んで買ったり、すべての人の栄養状態改善を支援したり、食料の廃棄に対処したりすることにより、自分たちの生活で変化を起こすことができます。

また、消費者や有権者としての力を使って、企業や政府に対し、飢餓ゼロを実現する選択や変革を求めることもできます。ソーシャルメディア・プラットフォームでも、地域社会でも、ぜひ会話に加わってください。

「飢餓ゼロへの挑戦」(英語名ゼロ・ハンガー・チャレンジ)

(www.zerohungerchallenge.org)に加わり、その他の行動手段を含むさらに詳しい情報を知ることにより、グローバルな飢餓ゼロ運動に参加することもできます。

目標 2 をはじめ、持続可能な開発目標(SDGs)についてさらに詳しくはこちらをご覧ください。

http://www.unic.or.jp/activities/economic_social_development/sustainable_development/2030agenda/

日本語訳: 国連広報センター



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

17 GOALS TO TRANSFORM OUR WORLD